

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	生物多様性保全推進事業				シート番号	010-012
担当部署名	環境	局	環境保全	部	環境共生	課 評価責任者(課長名)
						辻尾

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	5	持続可能な環境共生都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	循環型社会推進と自然環境の保全・再生	有
	2	事業開始年度	平成 22 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	生物多様性基本法、生物多様性地域連携促進法			
	4	関連計画	生物多様性・堺戦略			
5	事業実施の経緯	平成20年6月に生物多様性基本法が施行され、生物多様性地域戦略(以下「地域戦略」とする)策定の努力義務を含む地方公共団体の責務が明記された。自然的・社会的条件に応じた地域における生物多様性の取組が重要視される中で、本市においても、「生物多様性・堺戦略」(平成24年度策定)に基づき、各施策を進めている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民、学校、事業者、市民団体等			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	生物多様性・堺戦略に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する各種施策を総合的かつ計画的に進めることにより、生物多様性に配慮したまちづくりを推進するとともに、堺市SDGs未来都市計画及び第3次堺市環境基本計画に掲げる生物多様性認知度の目標を達成する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型の生物多様性Webサイト「堺いきもの情報館」にて、生物多様性に関する様々な情報を発信し、生物多様性の認知度の向上と市民・団体の活動を促進。 ・市民の生物多様性の認知度向上のため、市民参加型モニタリングや外来生物啓発イベント等普及啓発を実施。また、小学生を対象として生き物調査授業を実施。 ・外来生物による生態系への被害防止や市民生活への影響を防ぐため、防除方法の発信や注意喚起等を実施。 ・生物多様性の保全に資する適切な対策を講じていくための資料として、堺市レッドリスト2015・堺市外来種ブラックリスト2015の活用促進を図るため、ガイドブックの配架、パネル展示を実施。 ・生物多様性に配慮した活動促進に向けた連携体制として、産学官民連携による堺市生物多様性ネットワーク会議を開催。 			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ウェブサイト保守運用委託業者				

Ⅲ. 投入量

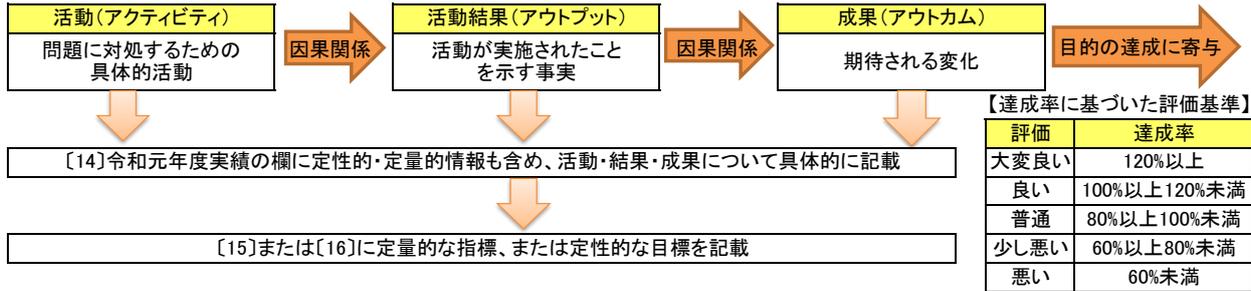
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	2,357	2,064	4,357	3,695	13,558	8,198	5,974	
主な事業費内訳	委託料	千円	490	274	1,290	1,074	10,745	6,305	3,730
	報償費(謝礼金等)	千円	676	551	676	612	1,245	662	972
	旅費(会議参加等)	千円	72	93	72	71	96	93	127
	需用費(印刷製本費)	千円	550	550	1,250	951	850	633	636
	国・府支出金	千円							
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他(環境都市推進基金)	千円							
一般財源	千円	2,357	2,064	4,357	3,695	13,558	8,198	5,974	
12 人件費 (b)	千円	12,300	12,300	12,300	12,300	21,060	21,060	18,860	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	14,657	14,364	16,657	15,995	34,618	29,258	24,834	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	生物多様性保全推進事業	シート番号	010-012
-------	-------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績											
活動実績と成果	14	<p>・堺市生物多様性ネットワーク会議を3月に1回開催し、市の生物多様性保全業務の推進に対し有識者等から各種意見をいただいた。 ・生物多様性Webサイト「堺いきもの情報館」にて、月1回以上メルマガの配信、4回のウェブイベントの開催など積極的な情報発信を実施した。また、市民等からのいきもの発見報告を1,930件投稿してもらうことができた。 ・堺エコロジー大学主催講座として、「外来魚バスター」(外来生物啓発イベント)等を実施し、小学生いきもの調査授業は、小学校2校で実施した。 ・その他、各種イベントにおいて外来生物や生物多様性のパネル展示などにより積極的に普及啓発を実施した。(9回) ・地域の生物環境に関する実態調査として、河川水生生物調査により石津川水系の魚類や水生昆虫等の生息分布状況を調査した。また、堺市レッドリスト・堺市外来種ブラックリストの令和2年度中の改訂に向け、令和元年度は有識者で構成する懇話会を3回開催し検討を行った。</p>									
		指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
		15 市民参加型普及啓発イベント参加者数	人	目標値	60	60	60	60			
				実績値	100	80	39				
				達成率	167%	133%	65%				
				評価	大変良い	大変良い	少し悪い				
		算出方法・設定根拠など		堺市マスタープラン(後期計画)で目標設定しているイベント開催数(3回)における募集人員を目標値に設定							
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
		16 「堺いきもの情報館」の写真投稿件数	件	目標値	1,200	1,200	1,500	1,500			
				実績値	1,359	1,579	1,930				
				達成率	113%	132%	129%				
				評価	良い	大変良い	大変良い				
		算出方法・設定根拠など		堺市SDGs未来都市計画のKPIを準用							

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	市民参加型普及啓発イベント参加者数	人	100	80	39
	②	上記①にかかる年間経費	千円	332	289	196
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	3,320	3,613	5,026
	備考(算出についての説明等)		イベント開催に係る謝礼金等事務費、人件費			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	「堺いきもの情報館」の写真投稿件数	件	1,359	1,579	1,930
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,691	1,908	2,239
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	1,244	1,208	1,160
	備考(算出についての説明等)		堺いきもの情報館運用に係るサーバ借上等事務費、人件費			

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	設定した指標について、市民参加型普及啓発イベントは天候不良により1件中止となったが、他2件は予定通り実施し参加者を得ることができた。また、堺いきもの情報館での「いきもの発見報告」の件数は市民等から目標を超える多くの投稿をしていただくことができ、効率性も向上している。その他の生物多様性保全に係る各種取組についても、順調に推進することができた。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうだったか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	生物多様性保全推進事業	シート番号	010-012
-------	-------------	-------	---------

≪ V. 点検 ≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 外来生物による被害が拡大する懸念がある。 堺市マスタープラン後期実施計画、堺市SDGs未来都市計画及び第3次堺市環境基本計画に掲げる生物多様性認知度の目標を達成するための主要事業であり、当該事業を中止した場合、目標達成が困難になる可能性が高い。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 外来生物による被害が拡大する懸念がある。 市民の生物多様性認知度の減少とそれに伴う生物多様性保全取組が減少する可能性がある。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 コロナ禍を踏まえ、現地における講座開催から教材(資料)の提供やウェブサイトを活用した啓発等に実施方法を変更することで、講師謝礼金等のコスト縮減が可能。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 講義スタイルの講座を縮減し、「堺いきもの情報館」のコンテンツを充実させICTを活用した家庭学習等を推進する。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (総務課、環境政策課、学技振興課、教育センター) 関連事業名 (緑地保全事業等) ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明	公民連携、ICTの活用については、すでに改善済みであるが、今後、さかいコネクテッドデスクとの連携等を通して、市民や各種団体等の生物多様性の保全・再生・創造に向けた活動を促進していく。それを進める重要なツールの一つとしてウェブサイト「堺いきもの情報館(堺生物多様性センター)」を運用している。 生物多様性地域連携促進法第13条における地域連携保全活動支援センターに認定されている地方公共団体は11都道府県、2政令指定都市、2市区町村の合計15であり、堺いきもの情報館は、生物多様性地域連携促進法第13条における地域連携保全活動支援センターにウェブサイトとして初めて認定された。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	今後、市民や各種団体等と連携しながら各施策を総合的かつ計画的に実施することで、生物多様性に配慮したまちづくりを推進していくとともに、市民や各種団体等の生物多様性の保全・再生・創造に向けた活動を促進していく必要がある。それを進める重要なツールの一つとして「堺いきもの情報館(堺生物多様性センター)」を堺市の生物多様性を考えるウェブサイトとして運用し、広く市民等に活用してもらえるように普及啓発に努める。また、SNSの活用などICTを活用した事業推進を行っていく。		